

私が、昭和25年頃に女性誌向けに執筆した「手持ちの布で簡単にできるビーチサンダルの作り方」を紹介します。なお、原文に一部加筆・修正をしております。

あなたのお手持ちの布でできる簡単なそして新しい夏のサンダルの作り方を、ご紹介いたしましょう。

靴などとても手製ではできないようにお考えでしょうが、サンダルは部分品を手に入れるか、一寸ご自分で工夫して材料をあつめれば、案外たやすく作れます。では下記の材料をご用意下さい。

布地＝有りあわせの帯地、帯芯、ズック、ラシャ、その他洋服の残り布など何でも結構ですが、余り厚くない手頃な布地を選んで頂きます。

布の大きさは、表布は新聞紙大、裏布はそれの三分の二、これだけあれば十分です。

紙型＝九半（22.5cm）。九七（23cm）のお足を標準にしましたが、もしもそれより大きい方は中底に止める部分を長目にお裁ちになればよろしいわけです。

甲布＝紙型を当て、折り込み部分のところを六耗ほど残して、裏、表それぞれ同数裁ちます。（この場合お靴には左右ありますから、間違わないように）裁ち終わりましたら各各折り込み部分を紙型を当て、鋸こてのようなもので折り込んでゆきます。できましたら、表布の後ベルトに尾錠穴びじょうをあけ、尾錠を付けます。

次に裏表を合わせてミシンをかけ、同時

に後ベルトの踵かかと及びベルトをはぎ合わせます。これで甲布はでき上がりました。

中底＝ボール紙（近頃見かける進駐軍放出のダンボールが最も適します）。中底は作る大きさの規準になるものですから、どなたかお履きになっている同じサイズのサンダルシューズがありましたら、その敷革を型にして切っていただくのが一番手っ取り早い方法です。そうして切りましたフチへ布を巻いておきます。さあ、ここまでできましたらそのままです。

ストーム及びヒール＝ストームにヒールを釘で取り付けましょう。（このヒールは大きい靴屋さんでゆずってもらう方がよいでしょう。）（一足35円から50円ぐらい）

甲布吊り込み＝先に作っておいた中底へ甲布をお足にきつめに合わせ、釘（三分）または糸で止めてしまいます。ここまでくれば、あとはもう組立＝を待つばかりです。

次号に続く



スキヤ橋交差点のミヤモト靴店での著者
（昭和26年）